女性チャレンジ応援拠点だより 2021 11月

○●○●○　コラム【秋深まり、想う新年】○●○●○

秋本番、コロナ感染対策をとりながら、そこかしこで色々なイベントが開催されています。昨年はあまりの想定外の事態に混沌としましたが、２年目の今年は社会的な学習が進み、３年目にあたる来年２０２２年は実質「アフターコロナ元年」にあたるのではないでしょうか。

そういうことも視野に、11 月の「チャレンジする人のニューノーマル」は、**「今年中に来年の『一年の計』を目論む！」**です。ちなみに、「目論む」を辞書で調べると、「物事をしようとして考えをめぐらす、心積もりする」です。

今年に一念発起して〈チャレンジ〉に一歩ふみ始めた方、すでに活動を始めて数年経つ方、それぞれに、11 月の終わり頃にもなると、今年一年がどんな年だったか、概ね総括できるようになります。同時に、今年動き始めたばかりの方は、“年が明ければ…！”、活動して数年の方には新年の仕事の打診や予定などの話も出てくる、あるいはすでに出ているかもしれません。いずれにせよ、11 月から 12 月にかけては、今年の流れをいいカタチで来年につなげる大切な時期、些細な出来事や変化、情報を逃がさず、来年への〈流れ〉に関連づけて考えることをお勧めします。

例えば、今年初めて「女性チャレンジ応援拠点」を利用してみる気になり訪ねてみた、生活を朝型にかえて今後役立ちそうな本を読み始めた、等々。今年になってこれまでと違う動きをした方は、まちがいなく、これから新しい未来が開きます。その扉を開くのはご自身、年末から年始にかけての身のまわりの変化、そして何より自身の心境の変化を大切にとらえたいものです。それが未来を展望することになり、来年をどんな一年にするかアイデアがわいてくるはずです。

一方、数年前にすでにチャレンジして自分で活動を始めたという方は、その時から今年にかけての経過もたどり、いま時点で立っている来年の予定なども含めて考え、“となると、来年はこういう展開になるかしら…”などと、想定してみるとよいでしょう。

その想定を、年が明けてから実際の状況変化などと照らし合わせ、“やっぱり！”となれば、「一年の計」を確定して、年間の具体的なアプローチを考え、決めていけばいいですし、“少し違う…”と思えば、想定し直して、具体策を講じればいいわけです。

さて、こう書きましたが、ピンとこない方もいらっしゃるかもしれません。そこで今回のテーマの関連した『拠点ゼミ』を 11 月 27 日（土）に予定しています。12 月になると、何かと慌ただしくなり、「考える」時間も疎かになりがちです。11 月中にじっくり今年またはここ数年をふり返り、くる新しい年、アフターコロナ元年からむこう数年をどう自分なりに辿っていくか、展望いたしましょう。もちろん『拠点ゼミ』でなくても、「女性チャレンジ応援拠点」はいつも、チャレンジするみなさんを後押ししています。開室時間に対面で、メールや電話でもご相談にお応えしています。新しい年はほんのすぐそこです。みなさまのご利用をスタッフ一同、お待ちしております。

○●○●○　**感染対策をして開室しています**○●○●○

同時入室６名までとして、通常通り開室しています。初めての方も、お久しぶりの方も、お気軽にお越しください。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央４階
電話＆ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

開室日　※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 〜 12:30	18:00 〜 20:00	13:00 〜 15:00	10:30 〜 12:30	13:00 〜 15:00

開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。